

感染症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第4週)

(令和7年1月20日～令和7年1月26日)

令和7年1月30日

定点報告(上段:定点当り/下段:報告数)

区分	疾病名	2025年					2024年	2023年
		1週	2週	3週	4週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	20.22	36.44	15.67	10.44	-	-	-
		182	328	141	94	745	2,570	3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	5.78	11.00	8.00	8.89	-	-	-
		52	99	72	80	303	2,596	1,698
	RSウイルス感染症	-	0.20	-	-	-	-	-
		0	1	0	0	1	104	110
	咽頭結膜熱	0.20	-	-	0.20	-	-	-
		1	0	0	1	2	104	37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	0.80	0.80	1.40	-	-	-
		0	4	4	7	15	240	176
	感染性胃腸炎	-	1.20	1.80	4.00	-	-	-
		0	6	9	20	35	696	1,023
	水痘	-	-	-	0.40	-	-	-
		0	0	2	2	4	29	28
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-
0		0	2	0	2	973	132	
伝染性紅斑	0.40	2.00	4.40	7.40	-	-	-	
	2	10	22	37	71	43	3	
突発性発しん	-	0.40	-	0.20	-	-	-	
	0	2	0	1	3	81	100	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	28	188	
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	4	2	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	1	
流行性角結膜炎	-	3.00	2.00	-	-	-	-	
	0	3	2	0	5	6	9	
全数報告	結核	0	1	0	0	1	8	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1	0	0	1	1	0

出典: 福島県感染症発生動向調査週報(I DWR)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中	インフルエンザ、伝染性紅斑
増加傾向	感染性胃腸炎

【感染性胃腸炎】

原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる接触感染と、汚染された食品を食べることによる経口感染があります。ウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法です。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので、おう吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

感染対策をお願いします



石けんを使って手洗い

おう吐物やオムツを
処理するときは、
使い捨て手袋・マスク・
エプロンを着用



消毒薬は、
次亜塩素酸ナトリウム
を薄めたもの



二枚貝は十分に加熱